



令和7年度 松本地区保護司会 定期総会

第128号
令和7年8月1日
発行 松本地区保護司会

松本地区保護司会の定期総会・懇親会が、四月十七日(木)にホテルブエナビスタにて開催されました。各議案は原案通り承認され、懇親会も盛大に開催されました。

正副会長の挨拶

会長 小岩井 里美



四月より松本地区保護司会の会長を仰せつかりました。まだ保護司として未熟

であり、もつと経験豊かな先輩の先生方がいらつしやる中、会長を引き受けることとなりました。微力ではありますが職務を果たせるよう努力して参ります。

年度当初、他団体の総会に参加させていただき、それぞれの活動等に触れるにつけ、今まで自分が勉強不足であったことを実感しました。

保護司会においても、定員確保や保護司専用ホームページ「H@」(はあと)の活用の課題等があります。少しでも解消できるよう、努力して参ります。

保護司の皆様のご協力はもちろん、関係団体や地域の皆様のご協力もよろしくお願い申し上げます。

副会長 中村 賢



このたび松本地区保護司会の副会長を仰せつかりました。大先輩諸兄が大勢い

らつしやる中経験の浅い身、ましてや未熟者の私です。大変微力ではありますが、小岩井会長のもと更生保護活動の推進に力を尽くして参りたいと思います。どうかこれまでと変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

副会長 上條 琴子



今年度から新メンバーでスタートした役員会で、副会長に任命されました。私

は二年間わたげ部の部長として、更女の理事会に出席しておりました。理事の方々との交流を、あと二年楽しみにしていた矢先の、青天の霹靂でした。

経験も浅く未熟な私に務まるのか苦悩する毎日ですが、もう一人の副会長さんと共に、新会長さんを補佐し頑張りたいと思います。

第75回 社会を明るくする運動

第14回 松本市推進委員会

松本市推進委員

会が六月二十五日
(水)、音楽文化
ホールで開催され
ました。

会に先立ち、小
岩井里美保護司会
会長が臥雲義尚松
本市長に、石破総
理大臣からの「社
会を明るくする運動」に
関わるメッセージを読み
上げ手渡しました。

その後の会議では、八十四団体から三十一団体が参加し、市推進委員会の活動の趣旨の説明と、昨年度の活動報告及び今年度の活動計画が発表され承認されました。また、松本警察署から松本市の犯罪（特に特殊詐欺）の現状の発表、松本少年刑務所からは紹介が行われました。多くの団体と協力して「社会を明るくする運動」が推進されることを望んでいます。

社明部長 滝澤 悌二



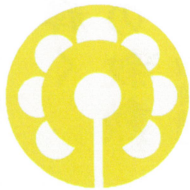
メッセージ伝達

黄色い羽根



「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」とも呼ばれ、犯罪や非行のない明るい社会を願うシンボルです。その由来は、更生保護のシンボルマークであるヒマワリの黄色と、刑期を終え出所した男性をあたためかく迎える夫婦愛を

描いた映画「幸福の黄色いハンカチ」（昭和五十二年 山田洋次監督）から着想を得て考案されたものであり、平成二十三年から全国で使用されています。



更生保護

街頭啓発活動



7月1日(火) 松本駅前

四月十七日は 国際更生保護 ボランティアの日

二〇二四年（令和六年）四月に開催された第二回世界保護司会議において、保護司を始めとする更生保護ボランティアの取り組みを促進し、その国際的な認知度を向上させることをめざして、制定されました。



第52回 松本子どもまつり



5月3日(土)開催 アルプス公園



迷い子は無事親元へ

松本地区保護司会は「迷い子センター」の受付担当

地域別定例研修会

六月十六日(月) 松本市総合社会福祉センターに於いて令和七年度第一回地域別定例研修会が開催されました。今回は、宮下崇主任保護観察官を講師に迎え、「面接について」をテーマに講義と演習が行われました。

グループワーク
初回面接の練習東分
区
荒川
道永

講義では、保護司の役割、往訪と来訪の意義、面接の基本原則や心構え、面接技術、そして配慮を要する対象者の変化について説明がありました。中でも印象的だったのは、保護司が保護観察官と対象者の「仲立ち」となる役割に関するお話です。対立構造になりやすい両者の間に入り三者関係を築くことで、より円滑に保護観察が機能すること

松本地区保護司の担当する対象者数

令和 7 年 7 月 1 日現在

1号観察	15件	生活環境調整	
2号観察	4件	少年院在院	3件
3号観察	2件		
4号観察	16件	刑務所在監	22件
計	37件		

1号観察とは、家庭裁判所の決定により、保護観察に付された少年。
2号観察とは、少年院から仮退院を許された少年。
3号観察とは、刑務所から仮釈放を許されている人。
4号観察とは、刑の執行猶予され、保護観察に付された人。
生活環境調整とは、収容中の段階から、その者の改善更生と社会復帰にふさわしい生活環境をあらかじめ整えるための措置を講ずること。

荣誉に輝く
春の叙勲

(敬称略)

◇瑞宝双光章
更生保護功労

山元 秀泰

長年のご活躍に対して受章されました。
心よりお祝い申し上げます。

保護司の異動

(敬称略・順不同)

〈退任〉

令和七年五月十九日付け

丸山 哲弘(東分)

百瀬 眞市(東分)

長い間大変お疲れさまでした。

〈新任〉

令和七年五月二十日付け

百瀬 貴啓(東分)

福嶋 るみ(西分)

大和田 康子(南分)

鎌倉 弘行(南分)

中村 武男(南分)

末永く宜しくお願いします。

「まつもと保護だより」
松本市ホームページに掲載

掲載場所

トップページ⇒分類でさがす⇒くらし・安全⇒防犯・安全⇒安全・安心な町づくり⇒社会を明るくする運動⇒まつもと保護だより

ホゴちゃんの一言

私の敬愛する先輩が、「人間としての感性を磨かなければいけませんよ。方法は人それぞれだけれども誰にでも感性を磨くことにプラスになるひとつに、舞台芸術を鑑賞することですよ。舞台芸術は常にやり直しの効かない真剣勝負だから」という示唆にとむ助言をしてくれたのは二十代前半の頃だったろうか。舞台芸術といっても何を指すのかといふかつての私に先輩は、「堅く考えることなく、縁に触れる物なら何でもいいのです。懐具合と、時間と興味で」その言葉に触発されてか縁に触れて半世紀に渡りいろいろな分野の舞台芸術に接してきた▼今はスマホでいろいろな見聞が可能だけれどその場の空気感、緊張感、高揚感などはまさにリアルな場でしか味わえない感覚だと思う。この感覚の高揚感は良からぬことを企む事とは対極にあると思う▼松本は地方都市としてはセイジ・オザワ松本フェスティバルを筆頭に舞台芸術鑑賞の機会に大変恵まれています。是非劇場に足を運んでください。